

**【第283号 紙面案内】**

第2～5面……第68回全国研究大会関連

第6～9面……各部会のお知らせ、山城賞および山城賞奨励賞募集など

**第68回全国研究大会統一論題解題**

大会実行委員長 篠原 淳（日本経済大学）

## 統一論題「地域における企業家とマネジメント」

日本マネジメント学会第68回全国研究大会は福岡県福岡市にあります九州産業大学で「地域における企業家とマネジメント」という統一論題のもと、10月18日(金)から20日(日)に開催いたします。

今回の統一論題テーマ設定にあたり、「『福岡』で『2013年』に開催する意義」を考えました。まず「福岡」市の特徴として日本の主要都市の中で最も開業率が高い点を挙げる事ができます。企業家の活躍する福岡が会場になることから「企業家」を設定しました。

その企業家に関する研究としては「2013年」になり、ジャーナル誌 Entrepreneurship Theory and Practice がソーシャルキャピタルを特集し、Journal of Business Venturing が制度とコミュニティを特集した点に注目できます。おおまかに二つの特集は、「地域における企業家」を取り扱ったもので、このテーマへの注目の高まりを示すものです。また、地域における企業家は学術界のみならず日本の政策としても注目されています。昨年度の補正予算から本年度の本予算にかけて地域の需要に焦点が当てられ、2013年から地域と企業家にウエイトをおいた政策が取られるようになりました。企業家自体も、数年前より社会企業家、ノマドといった新しいタイプが現れその活躍の範囲を増しております。今後「地域における企業家」の活躍がますます注目されるでしょう。

今回の統一論題では福岡の「地域における企業家」の代表的な方々を実務家報告者として設定しました。実務家報告者とわたしたちとの議論がどのような化学反応を見せるのでしょうか。充実した議論のためにも会員皆様による議論への参加が不可欠です。多くの皆様がおいでになり議論していただきたく心からお願い申し上げます。

さて、「福岡」といえば明太子です。「福岡」の「2013年」のトピックとして、明太子の生みの親、ふくや創業者の川原俊夫氏生誕100周年という点を見逃すことはできません。今回は、ふくや代表川原正孝氏を特別講演講師としてお招きし、この4月にリニューアルオープンしたばかりのふくや明太子工場「博多の食と文化の博物館ハクハク」を企業見学いたします。

福岡の地で2013年に開催する日本マネジメント学会、皆様のお越しを心よりお待ち申し上げます。